

2022.12.26 市修正追加版

秦野駅北口周辺 にぎわい創造検討懇話会

第4回

令和5年1月16日(月)

本日の流れ

1 秦野駅北口周辺まちづくりビジョンについて

- (1) 懇話会の振り返り
- (2) まちづくりビジョンとは
- (3) 今後の進め方

2 グループワーク

「やりたいことアイデア」の実施計画案を考える。

懇話会を振り返って

(4) 第1回懇話会開催報告

日時：令和4年9月11日（日） 14：00～16：00

会場：秦野市役所 3階 講堂 参加人数：25名

ワークショップテーマ：秦野駅北口周辺の特徴や魅力を見える化するマップづくり

これから“はだの”に住みたい人・お店を出したい人・ぶらりと訪れたい人にどこを紹介しますか？

まち歩きルートの設定を通し**秦野駅北口周辺の特徴や魅力、まちに足りていないもの・こと**について考える

市全体の特徴・魅力に係る意見

- ・豊かな自然/公園/アウトドア施設
- ・歴史文化/レトロな街並み
- ・名水（湧き水）/お茶/落花生 など

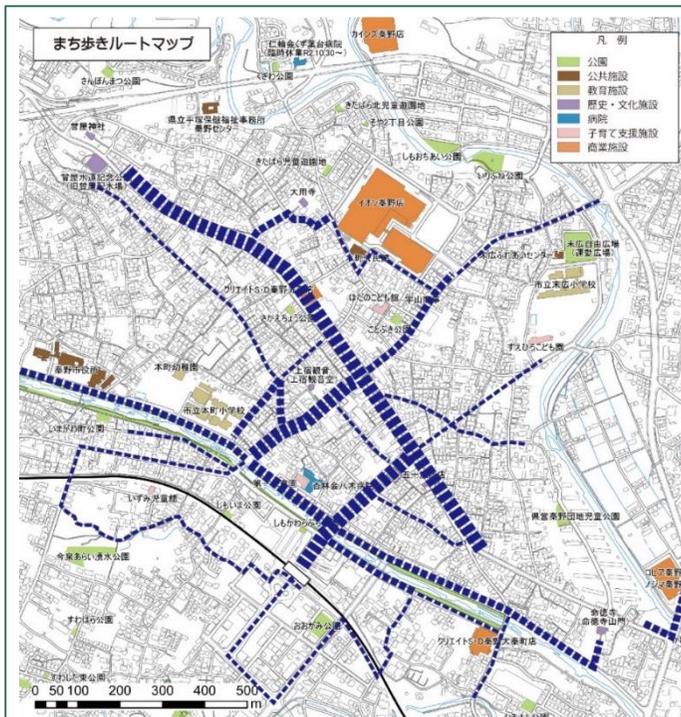
駅北口周辺の特徴・魅力に係る意見

- ・歴史ある場所
(本町四ツ角/五十嵐商店/宇山商事等)
- ・水無川沿いの桜、散策路
- ・都心へのアクセス性/生活のしやすさ
- ・活発な市民活動 など

まちに足りていないものに係る意見

- ・人々が集まり、交流できる、憩える場所
- ・オープンカフェやお酒が飲める店など、昼夜楽しめる飲食店
- ・人を呼ぶ魅力的なお店やかつての市場のにぎわい
- ・宿泊施設や土産店など観光に関わる施設
- ・多様な移動手段（レンタサイクルなど）
- ・商店街の後継者や若者を呼び込む力
- ・防災・景観面への対応 など

まち歩きルートマップのまとめ



まち歩きルートとして設定された数が多い道

- 秦野駅からまほろば大橋
- 県道705号
- 県道704号
- 水無川沿い

まち歩きルートとして設定された数



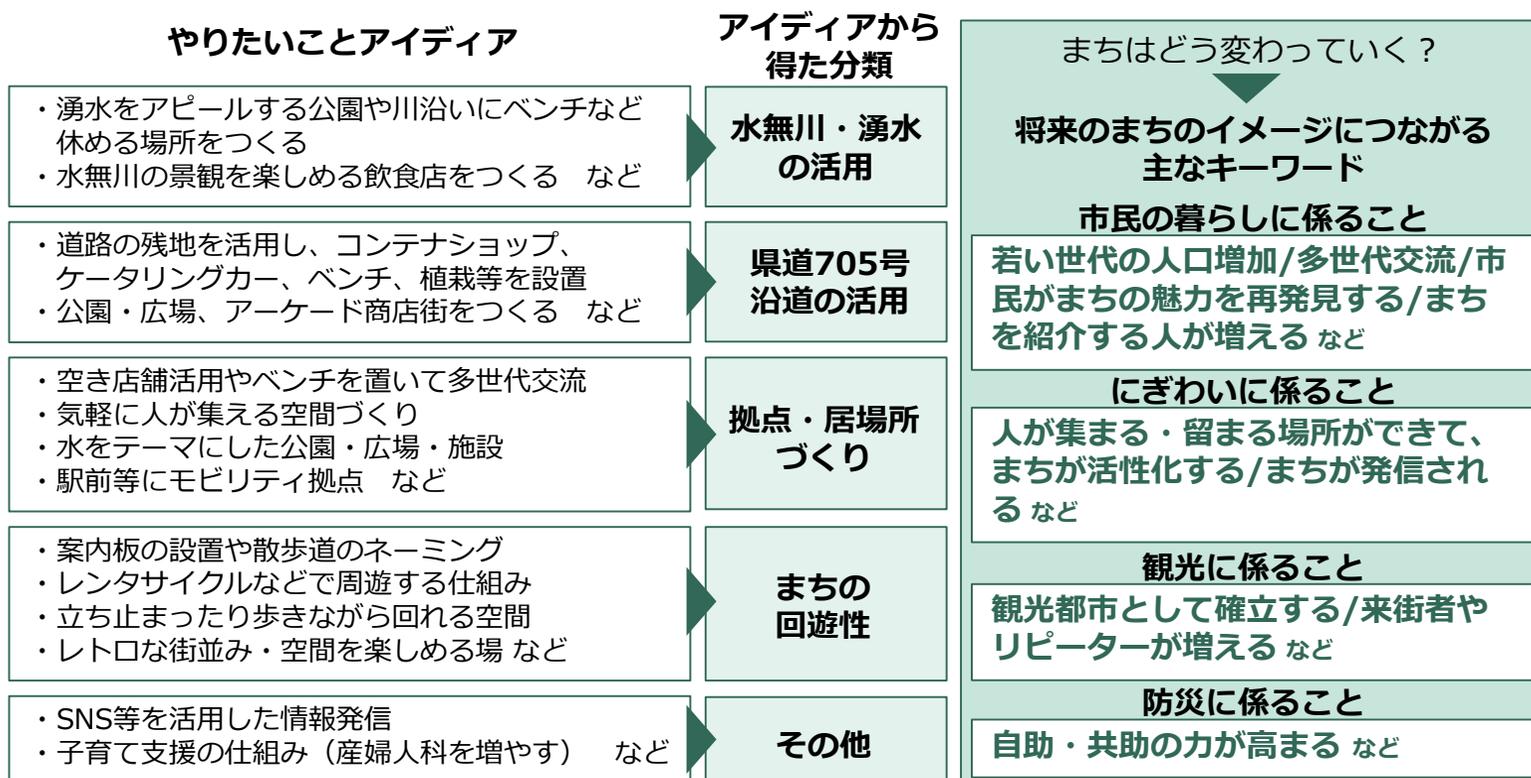
(5) 第2回懇話会開催報告

日時：令和4年10月22日（土） 14：00～16：00

会場：秦野市役所 3階 講堂 参加人数：20名

ワークショップテーマ：にぎわい創造のために「やりたいことアイデア」を考える

秦野駅北口周辺の特徴・魅力を活かし、足りないものを解決するために「やりたいこと」のアイデアを考え、それを続けていくと、まちはどう変わっていくのかを考える。また、アイデアを「すぐにできること」・「時間がかかること」・「自分たちでできること」・「自分たちだけではできないこと」に分類する。



(6) 第3回懇話会開催報告

日時：令和4年11月15日（火） 14：00～16：00

会場：JA本町支所 2F会議室 参加人数：20名

ワークショップテーマ：「やりたいことアイデア」の企画書を考える

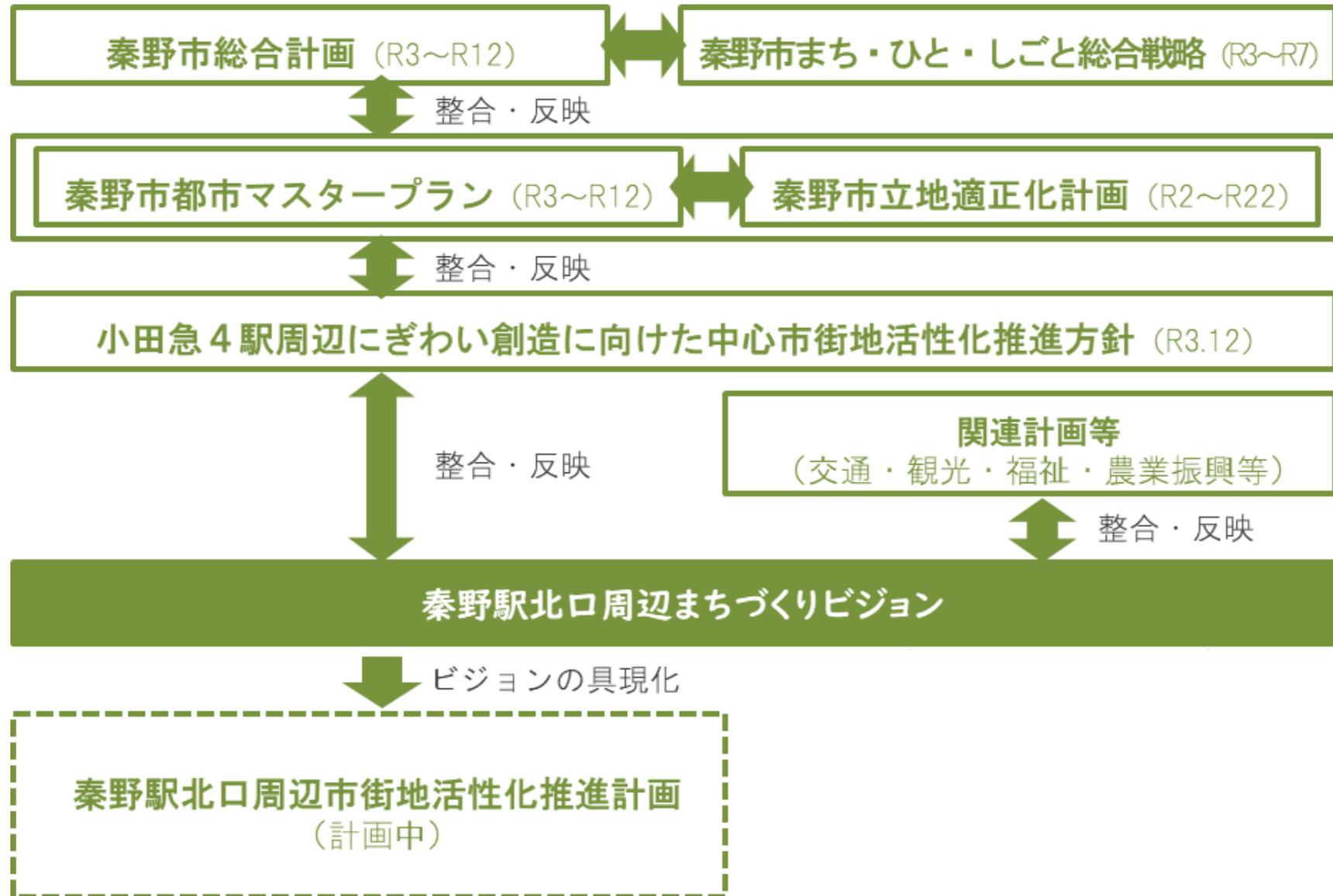
アイデアの分類ごとのグループに分かれ、第2回懇話会で挙げた「**すぐにできること**」・「**自分たちでできること**」を参考に、**来年度の社会実験につながる企画書**を考える。

アイデア分類	企画・目的・ターゲット	実施場所・実施すること
水無川・湧水の活用	ファミリー層やお年寄りをターゲットに川沿い・水を活用したにぎわい創出のための「桜 Market!!」を実施する	水無川沿いの道路や河川敷を使って、つい立ち寄りたくなるようなイベントや展示の実施、ドッグラン、芝生など人が留まる居場所づくりを行う
県道705号沿道の活用	丹沢の観光客に向けた市内の飲食店や秦野の自然のPRと、市民のくつろぎの場の創出に向けた、道路空間・空地を活用した居場所づくり	道路沿道や周辺の空地・駐車場を使って、フードイベントやマルシェ、くつろげるスペース、キャンプ体験を行う
拠点・居場所づくり	若い人・子どもからお年寄りまで気軽に集えて、楽しめる場所の創出に向けた、あるものを使った拠点・居場所づくり	商店街や県道705号、水無川沿いの空き家や空き店舗、空き地など使えるスペースを使って、人が集まって交流できる場所づくりを行う
まちの回遊性	子どもからお年寄りまで、多世代がまちに出るための案内や一息つける場所づくり	県道705号沿道や水無川沿い、河川敷などを使って、例えば秦野名産のヒノキ材などを使った案内板やベンチなどを設置する
その他	子どものダンスが盛んな秦野の魅力をダンスを通して知ってもらうためのパレードの実施	県道705号からまほろば大橋、水無川一帯までを使って、ダンスパレードを行う



秦野駅北口周辺まちづくりビジョンとは

〈秦野駅北口周辺まちづくりビジョンの位置付け〉



秦野駅北口周辺まちづくりビジョン

市民・地域団体・企業等の地区に関わる多様な主体が地区の**目指すべき方向性（将来像等）を共有し、まちづくりの連携や促進を図るためのガイドライン**



小田急4駅周辺にぎわい創造に向けた中心市街地活性化推進方針

市街地活性化の指標

駅周辺市街地における歩いて楽しい、歩いて暮らせるまちづくりの推進

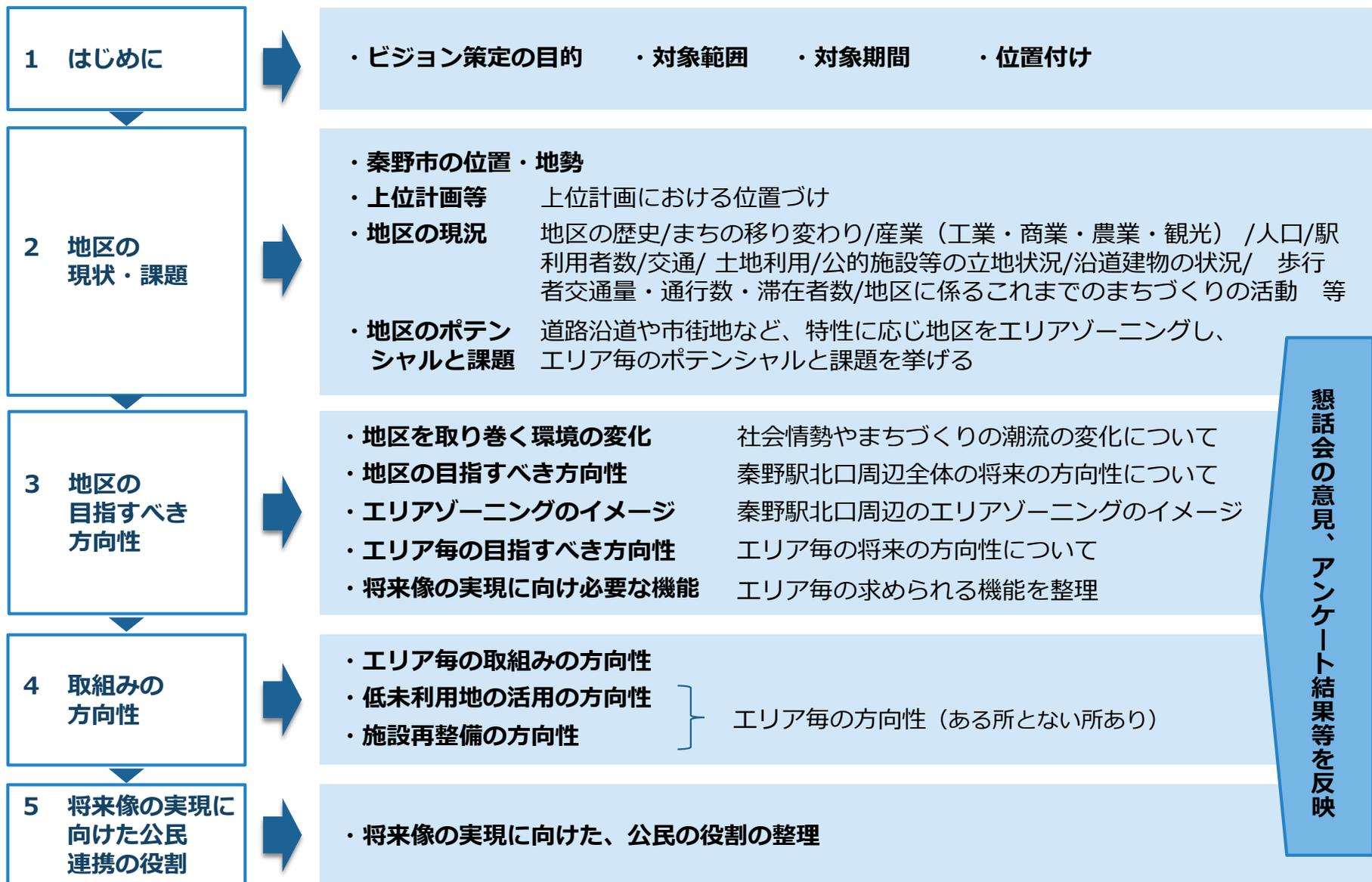
<策定の目的>

本町四ツ角を有する秦野駅北口周辺は、自然、歴史、文化等、多くの地域資源を有し、また、地域団体等による様々な取組み・活動が行われる等、市の経済・交通の中心地として栄えてきました。

一方で、急激な社会経済情勢の変化により、人々の価値観やライフスタイルが多様化する等、大きな変革期を迎えており、秦野駅北口周辺においても、ますます複雑化する地域課題へ対応しながら、市の中心都市拠点としての持続的な発展が求められています。

そのため、秦野駅北口周辺の地域資源やこれまでの地域活動等の蓄積を活かしながら、これまで以上に、市民・商業者・企業・関連事業者・行政等が連携して取り組んでいくための指針として、まちづくりビジョンを策定します。

〈秦野駅北口周辺まちづくりビジョンの構成〉



懇話会の意見、アンケート結果等を反映

今後の進め方

(1) 公民連携による取組の推進に向けた組織体制

構成委員（公募）

対象地域の自治会、
商店会の会員
対象地域に立地する
企業の従業員
対象地域の活性化に
意欲を有する者

秦野市4駅
にぎわい創造
検討懇話会
(秦野駅)

まちに係る様々な人のまち
に対する思い、アイデア
を引き出し、形にする場

庁内関係課等

総合政策課、行政経営課、財政課、財
産管理課、市民活動支援課、地域安全
課、生涯学習課、環境共生課、産業振
興課、まちづくり計画課、交通住宅課、
建設総務課、道路整備課、国県事業推
進課

秦野駅北口周辺
にぎわい創造
プロジェクト
推進会議

将来像の実現に向けた市の役割の確認・共有、
重点事業推進に向けた連絡・調整の場

秦野駅北口周辺
にぎわいのある
まちづくり
協議会

将来像の実現に向けた市民
等の思い・アイデアを
具体化する場

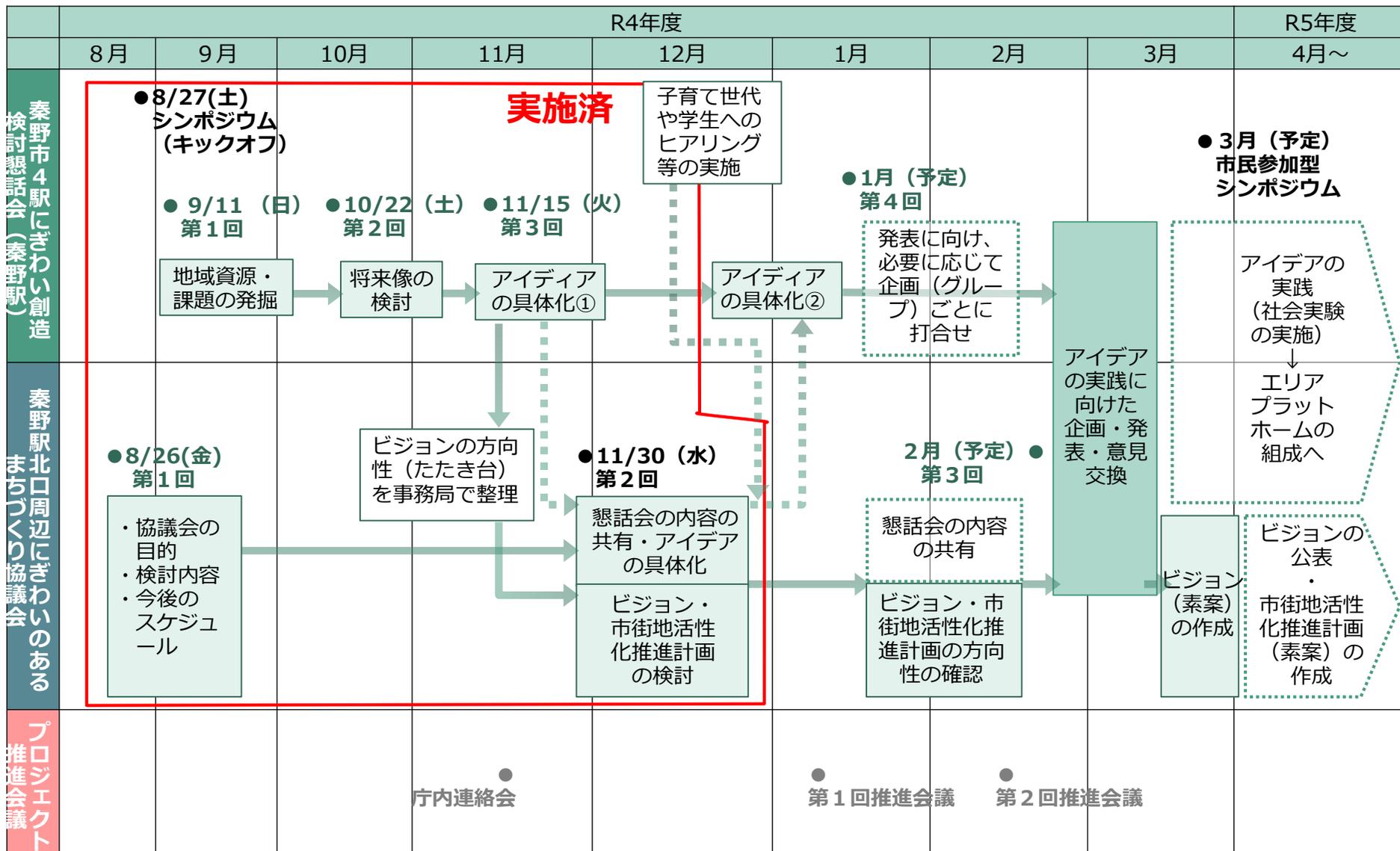
構成委員

学 識：東海大学建築都市学部、
神奈川大学建築学部
地 域：自治会、商店会
経済団体：秦野商工会議所、
秦野市農業協同組合
企 業：公共交通事業者、
金融機関
行 政：副市長、政策部長、
都市部長、建設部長

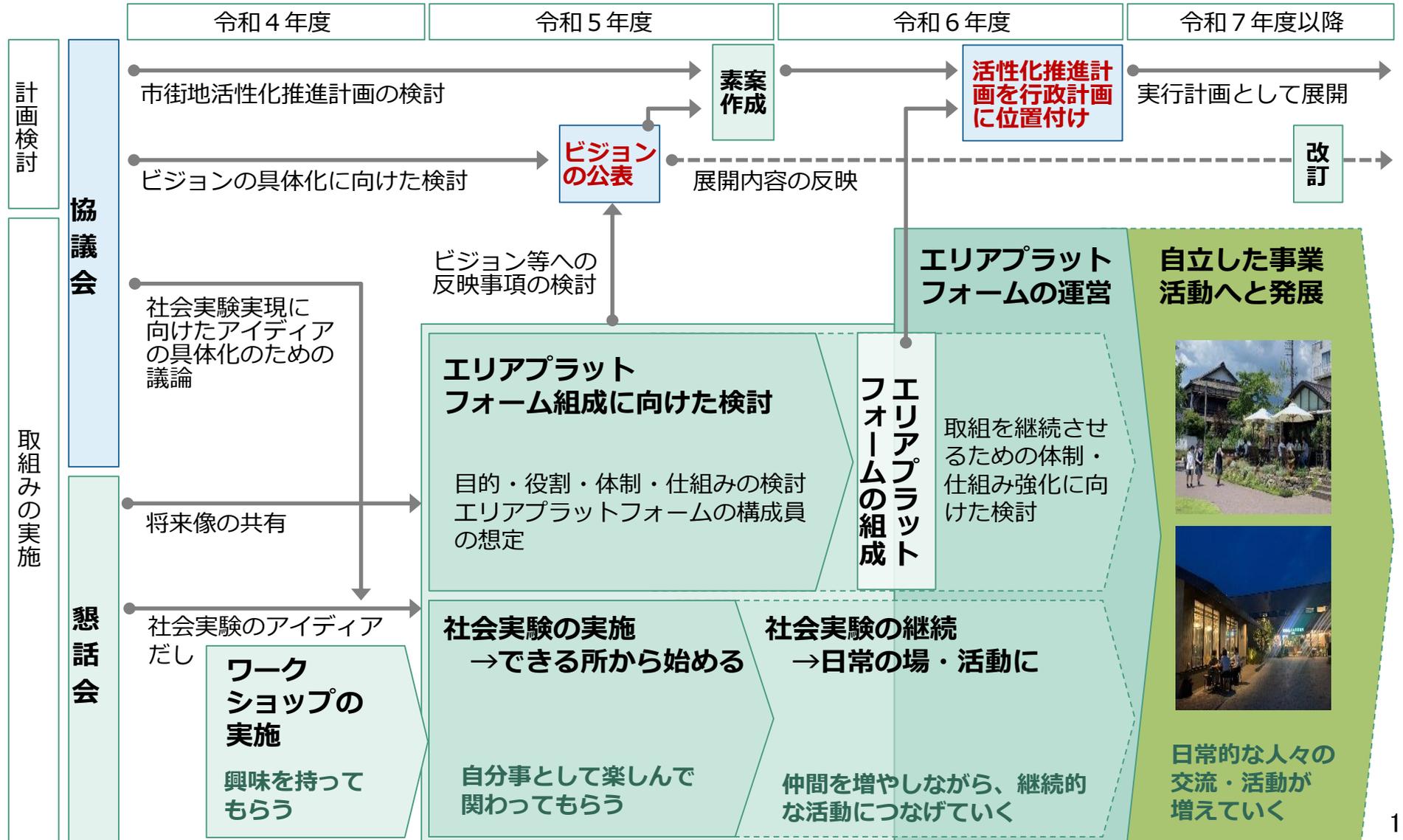
事務局 はだの魅力づくり推進課駅周辺にぎわい創造担当（各組織の運営、進行管理、調整等）

1. シンポジウム・懇話会の開催報告について

(2) 各組織の取組について



(1) 今後の進め方について



第2回秦野駅北口周辺にぎわいのあるまちづくり協議会 における委員からの意見

- まずは出来ることから始めて、それを継続しながら広げていくことを考えてほしい
- 空き店舗や空き地などの既存機能等を活用する社会実験から始めても良いのでは
- アイディアを、点から線へ、線から面へ広げていくための社会実験としてもらいたい
- 社会実験で実施することにより、その場所がどう変わっていくのかがイメージしやすくなる
- 社会実験の効果検証をする際は、利用者等の数字だけではなく、利用者や住民に対してヒアリングをした方が、より具体的な効果検証が出来る

第2回秦野駅北口周辺にぎわいのあるまちづくり協議会 における委員からの意見(秦野駅北口周辺まちづくりビジョン)

- エリアごとの特色を生かし、点を線にし、面的な展開が期待できると良い。
- 「歩いて楽しい、歩いて暮らせるまちづくり」の実現には、休み・憩える場所も必要だが、設定区域内に公園がない。
- 回遊性と合わせて、滞留できる場所も考えていきたい。
- エリアごとの特色は良いが、全体像がぼやけないように意識する必要がある。

質疑応答・意見交換

ワークショップ

ワークショップ

来年度の社会実験実施に向けて
実施計画案を考える。

- ◆ 来年度実施予定の社会実験に向けて、社会実験実施予定地で実施可能な計画案をグループでまとめる。

ワークショップの班分け

来年度、社会実験実施予定地（水無川通り沿道・県道705号）とまちの休憩場所づくりの3つの班で実施計画を考える

- ◆ 県道705号沿道の活用
- ◆ 水無川・湧水の活用
- ◆ 拠点・居場所づくり
- ◆ まちの回遊性創出
- ◆ その他、上記以外でやりたいこと

全体発表（1班5分程度）

グループワークのまとめを発表し、みんなの考えを共有しよう

グループワークのまとめを発表する人を1～2名決めてください

ワークショップのルール

ワークショップは、趣旨に則った意見交換の場です

- 全員が発言できるよう、話は簡潔にまとめ、他の人の意見も十分に聞けるようにしてください。

◎参加に当たっては、自主性(自発性)を存分に発揮しましょう。

◎参加者相互の立場を尊重しましょう。(他人の意見の非難・中傷はご遠慮ください。)

◎目的や情報など基礎的な共通認識を参加者で共有しながら進めましょう。

◎ワークショップを楽しみましょう。